

科目名	保健体育(バスケットボール)	英語科目名	Physical Education
開講年度・学期	平成27年度・後期	対象学科・専攻・学年	4年 全学科
授業形態	実技および講義	必修 or 選択	必修
単位数	2	単位種類	履修単位(30h)
担当教員	前原	居室(もしくは所属)	
電話	内線 185	E-mail	t-nagata1094@小山高専ドメイン
授業の到達目標	授業到達目標との対応		
	小山高専の教育方針	学習・教育到達目標(JABEE)	JABEE 基準
1. バスケットボールの基本的技術(ボールの操作、パス、ドリブル、シュートなど)を身につける。	⑥	E	d-4, f, i
2. バスケットボールのルール及び審判法を身につけ、ゲームを行うことができる	⑥	E	d-4, f, i
3. リーグ戦を行う中で、チームメイトと協力し、バスケットボールの攻撃の仕方や戦術を考え、課題解決に取り組むことができる。	⑥	E	d-4, f, i
4. スポーツの知識について理解・説明することができる	⑥	E	d-4, f, i
各到達目標に対する達成度の具体的な評価方法			
1-3. 練習およびゲームのプレー内容・スキルチェック等から総合的に判断し評価する。			
1-3. 毎時間のゲーム記録票または個人ワークシートの内容より総合的に判断し評価する。			
4. レポート課題の内容から総合的に判断し評価する。			
評価方法			
1. 実技点(スキルテストおよびリーグ戦の結果、試合・記録測定時のパフォーマンス内容) 35%			
2. 課題レポートの内容: 15%			
3. 授業態度(遅刻、忘れ物、服装、授業参加度、授業意欲など): 50%			
授業内容			
●種目選択およびガイダンス【1週】			
●バスケットボール【14週】			
② ショートパス、ロングパス、ドリブル			
③ シュート			
④ ドリブルシュート			
⑤ 2対2、3対3			
⑥ ルールの説明/ゲーム			
⑦ ゲーム			
⑧ チーム決め、ゲーム			
⑨ チーム練習/リーグ戦			
⑩ チーム練習/リーグ戦			
⑪ チーム練習/練習試合			
⑫ チーム練習/リーグ戦			
⑬ チーム練習/リーグ戦			
⑭ チーム練習/リーグ戦			
⑮ 実技テスト/ゲーム			
※室内での講義もあり得る			
※以上の授業内容は、天候や進度状況等により一部変更することがある			
キーワード	バスケットボール、コミュニケーション、技術の向上、基礎体力の向上		
	特になし		
参考書	特になし (※講義授業においては教材を教員が用意する)		
カリキュラム中の位置づけ			
前年度までの関連科目	保健体育		
現学年の関連科目	保健体育		
次年度以降の関連科目			
連絡事項			
○保健体育は出席することが前提条件である(オリエンテーションで説明する保健体育の規定欠課数を超える者については評価の対象にしない)			
1. 実技中心であるが、最初の授業および雨天時等に保健に関する講義を行うことがある。			
2. 授業では、学校指定のジャージ、Tシャツ、短パンおよび運動靴を必ず着用すること。それ以外は一切認めない。			
3. 授業時の無駄な私語、身勝手な行動、途中退出および非協力的態度などをとる学生に対しては単位を与えない。			
シラバス作成年月日	平成27年2月20日		